

11203金属プレス製品製造業における死傷災害事例(最大99事例まで) (2020年)

No	年	月	発生時	死傷災害事例	年齢	事故の型	起因物(小)	労働者規模
1	2020	1	9 ～ 10	工場内金属加工プレスエリア内で鉄板コイルをコイル台に載せる際、鉄板コイルが横に倒れてきて右側頭部に切傷を負った。	32	5	521	30 ～ 49
2	2020	1	8 ～ 9	工場では110tプレスを使用し換気扇の換気口の部品を加工していた際、誤って右手2指を圧縮し創傷を負った。	17	7	154	1～ 9
3	2020	1	15 ～ 16	ヨーカンブロックの上に金型を置く際に、ヨーカンブロックが倒れて金型が右手小指に落下し、基節骨を折った。	49	4	521	1～ 9
4	2020	1	15 ～ 16	工場に納品のため2tウィング車で到着し、ヘルメットを着用し、トラックの荷台よりカゴテナーの製品を降ろす際に、ラッシングベルトを外したとき、カゴテナーのストッパーが掛かっていなかったため、カゴテナーごと落下し、頭部挫滅創を負った。	69	1	221	30 ～ 49
5	2020	1	14 ～ 15	プレス機械のメンテナンス中に動力のスイッチを切り忘れたため、ペダルスイッチに接触し機械が動き出した際、指を挟み右手示指、中指、環指を切断した。	47	7	154	10 ～ 29
6	2020	1	9 ～ 10	プレス機の安全スイッチを切った状態で金型を付け替えた後、安全スイッチを入れ忘れたまま作業したため、右手指4本を切断した。	49	7	154	10 ～ 29
			9	乾燥炉出口で、台車に固定された扇風機を使って塗装品を冷却する				30

7	2020	1	7 ~ 10	際、台車を持つべきところを扇風機の羽根のカバーを持って移動させた。そのため、左手小指がカバーの隙間から中に入り、羽根に接触して切創を負い、骨にひびが入った。	60	7	169	~ 49
8	2020	1	7 ~ 8	出勤時、駐車場から会社敷地内へ移動中、川に架かった歩道橋の階段を下りる際、雪かき後に残っていた雪で滑り、左足首を骨折した。	29	2	719	~ 299
9	2020	1	15 ~ 16	工場内で金型組付作業中、重量物（約2t）をクレーン操作で吊り上げようとした際、ワークが横滑りし、左手をワーク近くに置いていたため、左手中指、人差し指を挟み切断した。	62	7	211	30 ~ 49
10	2020	1	17 ~ 18	工場内で、プレス作業中、コイル材の残った部分（長さ1.5m、厚さ1.6mm）を処分するため足で2つに折り曲げようとした際、左足が滑りコイル材の先端が左足脛に当たり挫創を負った。	23	6	521	30 ~ 49
11	2020	1	7 ~ 8	施設階段手前で、準備のため製品を確認中、台車につまずき転倒した。その際、左膝皿を骨折した。	67	2	417	50 ~ 99
12	2020	1	14 ~ 15	集荷場で、フォークリフトで空箱を運搬中、一時停止した際、リフトが少し動き、壁にぶつかり、左足をフォークリフトと壁に挟み骨折した。	26	7	222	30 ~ 49
13	2020	1	13 ~ 14	コピー室で作業後、デスクに戻る際、床が樹脂製でウレタンサンダルを着用しており、床とサンダル底のグリップが強く、前のめりに転倒しそうになり、左手を床につき、左肩を骨折した。	53	2	417	30 ~ 49
14	2020	1	16 ~ 17	プレス機にてプレス作業中、指を挟んで左手人差し指と右手人差し指、中指を切断した。その際、金型取付時に安全機をONにするのを忘れたため安全機が作動しなかった。	57	7	154	1~ 9
15	2020	1	15 ~ 16	作業中床で足を滑らせて転倒し、左手首を複雑骨折した。	49	2	417	10 ~ 29

16	2020	1	9 ～ 10	工場内でプレスラインの作業中、帯鉄置き場で帯鉄を切った際に帯鉄のロールが正規とは逆にスタンドに設置されており、残り少なくなっていたものが跳ね上がり、顔に当たって右目に穿孔性眼外傷を負った。	32	6	159	30 ～ 49
17	2020	2	11 ～ 12	工場内ドアの近くにいたとき、電話が入っていると構内放送があったので、ドア横に設置された固定電話を取った。電話の音が聞き取りにくかったので、ドアの外に出て（屋外）ドアを閉めて会話中に、外に出ようとした社員がドアを開けた際に、ドアにぶつかって転倒し、尻もちをつき、鼻骨骨折を負った。	51	6	418	50 ～ 99
18	2020	2	10 ～ 11	工場内で金型取り付けの作業中、誤って金型の下に指を入れて、左手中指の先を挟み欠損を負った。	61	7	521	1～ 9
19	2020	2	14 ～ 15	プレス作業場でシート材の加工中、ずれたシート材を直す際に手が滑って左手人差し指を挟み挫傷を負った。	48	7	529	30 ～ 49
20	2020	2	6 ～ 7	プレス工場で、始業後の段取り作業時に、450tプレスで最初の製品の寸法確認をするため1回プレスを起動し、2個目の材料をセットしようとして手を入れた。その際、プレスのセレクトスイッチが「連続」になっていたこと、安全装置が前日の運転で「切」のままになっていたこと、この2つに気付かず右手を入れて、人差し指・中指・薬指を挟み、裂傷、複雑骨折を負った。	40	7	154	100 ～ 299
21	2020	2	13 ～ 14	製品置き場で在庫の確認中、後進してきたフォークリフトと衝突した。その際、フォークリフトの後部に右足を引き込まれる形になり、右距骨を折り、右足関節圧挫傷を負った。	42	6	222	100 ～ 299
22	2020	2	11 ～ 12	工場内プレス機械で、（平鋼）長物加工から単発加工に切り替える際、本来は、手押しスイッチを利用するところを、長物加工の流れのままフットスイッチで作業をしていたため、右手を挟み、右手甲から先を切断した。	48	7	154	1～ 9

23	2020	2	11 ～ 12	事業場工場内でプレス加工作業中、皿ネジ部品（約10cm）をプレス加工機械の中に1個ずつ入れて作業をしているとき、入れるタイミングがずれて挟み、右手中指と薬指に裂傷を負い、骨折した。	75	7	154	1～ 9
24	2020	2	11 ～ 12	プレス作業中に品物を加工していないときに、型の中に左手を入れてたため、左手人差し指を切断した。	70	7	154	1～ 9
25	2020	2	11 ～ 12	工場内で、清掃のため移動中、床に置いてある型枠につまずき転倒した。その際、床に左膝をぶつけ打撲を負った。	72	2	417	30 ～ 49
26	2020	2	15 ～ 16	工場内で製面の仕上げ作業でろくろによるバリ取りを行っているとき、回転する製面に手袋が巻き込まれ、右手小指PIP関節伸展拘縮を負った。	47	7	153	10 ～ 29
27	2020	3	13 ～ 14	110kgのバイスをマグネットで吊り、ラジアルの台に載せるため移動中に落下し、左足の親指に当たって骨折した。	23	4	521	—
28	2020	3	10 ～ 11	工場内で、45tプレス機を使用してブランク加工をしていたとき、加工物が金型内に残っていたので左手で取ろうとした。その際、フットスイッチを踏んで機械が作動し、左手薬指を骨折した。	51	7	154	100 ～ 299
29	2020	3	11 ～ 12	ボルトの溶接作業中、足のスイッチを入れ、指を骨折した。	37	7	332	1～ 9
30	2020	3	15 ～ 16	工場内で、プレス加工中、連続スイッチを入れ加工した際、左手親指第一関節に切創を負った。	42	7	154	10 ～ 29
31	2020	3	14 ～ 15	作業場で、製品の整理中、製品を持っていたため板パレットに右足を引っ掛け、落下（1.2mの段差）した。その際、左足首をひねり、左距骨を折った。	45	1	418	100 ～ 299

40	2020	5	11 ~ 12	工場内で金型ベースプレート（約100kg）の面取りのため、ホイストクレーンを使用して、ラジアルボール盤へ移動する作業をしていた。四隅にワイヤーを掛けて吊り上げ移動した後、四隅のワイヤーを外してクレーンを動かしたところ、1か所のワイヤーが金型プレートに引っ掛かり、金型プレートがバランスを崩して落下し、左足甲に直撃し、骨折した。	26	4	521	1~ 9
41	2020	5	14 ~ 15	110tプレス機で型を取り付ける作業を行っていたとき、20kgの鉄製治具を倒してしまい、受け止めようと出した左手を台と治具の間に挟み、左第3中手骨を折った。	47	7	364	10 ~ 29
42	2020	5	5 ~ 6	工場内で、小型プレスの作業中、手工具を使用せずに作業したため、左手親指先端を圧搾し、裂傷を負った。	67	7	154	100 ~ 299
43	2020	5	16 ~ 17	塗装の吊り場から、塗装治具の入った3箱を持って階段を下りた。そのとき、足を踏み外してバランスを崩し、右側に転倒、右肘を強く打って粉碎骨折した。	56	1	413	10 ~ 29
44	2020	6	10 ~ 11	プレス工場で順送プレスを作業中、材料をアンコイラー上でスライドセットする際に、サイドアームが倒れて額付近に当たり、出血し、打撲、切創を負った。	56	6	169	10 ~ 29
45	2020	6	11 ~ 12	技術棟内で、軍手をはめて部品をフライス盤で加工していた際、切粉を除去しようとしたとき、回転中の切刃に軍手が触れて巻き込まれ、右中指裂傷、右環指関節内に開放性粉碎骨折を負った。	56	7	152	50 ~ 99
46	2020	6	16 ~ 17	社内25tプレス機でプレス加工を行うとき、フットスイッチにてプレス機に信号を送る設定で加工していた。製品を排出するとき、左手が金型内にある状態でフットスイッチを作動させ、左母指および示指を開放骨折した。	50	7	154	1~ 9
47	2020	6	9 ~ 10	工場構内で、鋼製定盤上に置かれた、鉄製チェーンカバーの左上面外側の黒皮をベビーサンダーで研削中、砥石がチェーンカバーに角に弾かれ、左足脛に当たり、裂傷を負った。	46	8	363	10 ~ 29

48	2020	6	9 ～ 10	工場内で角ダンパー外連結バーの運搬の際、供給トレーを両手で持ち足下が見えない状態だったため、ストア横にあった台車につまずき転倒し、左膝を骨折した。	56	2	362	～ 299
49	2020	7	16 ～ 17	自社工場内で鋼材を台車に載せて運搬をしていた際に、積み方が悪かった（中央に積んでいなかった）ために荷崩れを起こし、台車と鋼材の間に右手の人差し指を挟み創傷を負った。	40	7	521	1～ 9
50	2020	7	9 ～ 10	製品加工を行っていた際に製品裏面の汚れが気になり、コンベア表面を清掃しようとして機械を停止させずにウエスで拭き取ろうとしたところ、右手がコンベアとスチールロールの間に巻き込まれ、右環指挫創および右小指切断を負った。	49	7	224	30 ～ 49
51	2020	7	16 ～ 17	工場内で、0.5mm厚の電磁鋼板を300tプレス機で打ち抜きの際、コイル材を送り装置で送り、安全一工程で連続抜きをオペレーター1名、製品取り1名で作業を行っていた。製品がスクラップにはまった状態で排出されるため、プレス外側で製品を取って移動する際、うまく製品が取れなかったにもかかわらず、装置を作動させて、切れたスクラップの先端鋭利部分が右手内側に刺さり、右肘内側部分に裂傷を負った。	35	8	154	30 ～ 49
52	2020	7	11 ～ 12	工場内で、1人で45tプレス機を使用して、金属製品のしぼりおよび段押しの作業工程が終了し、金型を外すため安全一工程を解除した。その後、作業が完了していない製品が残っていることに気づき、再度、作業に取り掛かったため、プレス機に左手指を挟み、左手中指、薬指、小指を切断した。	83	7	154	1～ 9
53	2020	7	10 ～ 11	工場内の切断場で、アルミ長尺材料の寸法切りを丸鋸切断機で作業中、幅広材料を切断後に幅狭材料を切断する際、切断幅の設定変更を失念し、機械を作動させた。また材料を手で押さえる際に腕を置いていた位置が悪かったため、左前腕部に鋸刃が接触し、左前腕挫創、皮膚欠損創を負った。	65	8	159	50 ～ 99

54	2020	7	14 ～ 15	工場内で作業準備前、扇風機をつけようとして、箱（高さ約30cm）の上に足をかけた際、不安定になって踏ん張ったところ、右膝を骨折した。	80	19	371	～ 29
55	2020	7	10 ～ 11	工場内で、切断後の端材を縦置き端材棚に入れる補助作業を行ったとき、端材の重さで傾き、後方を持っていた被災者の左手の平を、端材の端部で切創を負った。	45	8	521	～ 99
56	2020	8	11 ～ 12	工場内で50型アングルベンダー機械の金型を交換する作業中、ドーナツ型の金型（約20kg）を機械の上に縦に置いたまま機械の油を拭き取っていた。その際、金型が転がって右足甲の上に落下し、安全靴は履いていたが、金属のないところに当たって、右足甲の骨にヒビが入った。	32	4	521	～ 49
57	2020	8	9 ～ 10	工場内で、アンコイラーを使用してコイル材料をレベラーに通す際、右手でローラーを調整し、左手でコイル先端を押さえて送った。その際、通常的位置より前を押さえたので、ローラーとコイルの間に左手中指を挟んで骨折し、切創を負った。	22	7	159	30 ～ 49
58	2020	8	9 ～ 10	プレス製造ラインで金型交換作業中に、金型内部に左手を置いて調整中にフットペダルを踏んだため、プレスが作動して左手第2指が金型内に挟まり損壊した。	26	7	154	10 ～ 29
59	2020	9	14 ～ 15	工場内で、加工が完了した金属部品が入ったカゴ（約28kg）を積み上げていた際、腰に違和感を覚え、急性腰痛症を発症した。	29	19	611	10 ～ 29
60	2020	9	18 ～ 19	工場内で金型（約100kg）の交換作業を行っていた際、金型を自らの方向に引っ張りすぎたため滑り落ち、避けきれずに股関節付近で受け止めたため、右股関節・右大腿骨・右腓骨、左足小指を骨折した。	41	4	154	10 ～ 29
61	2020	10	10 ～	工場内パレット置き場で、裏返しになっているパレットの上に乗って、立て掛けてあるパレットを引っ張り出そうとしたときに、パレット裏の穴の部分に足が入って転倒し、右足関節両果骨折を負った。	61	2	379	50 ～

			11	た。					99
62	2020	10	15 ～ 16	作業場にて、電気ドリルでボルトの穴を開けるため、左手で作業台を押さえ、右手でドリルを持ちカシメ機が固定してある作業台（縦450mm、横800mm、高さ1650mm、重さ203kg）とストッパー（鉄製L字型）を合わせて穴を開けた。その際、ドリルが引っ掛かり、ドリルから右手を離れたところ、本体の回転した部分が右手甲に当たって骨折した。	72	4	169		10 ～ 29
63	2020	10	9 ～ 10	プレス工場内の材料スタンドで、プレス機のアンコイラーに材料を取り付けるため、材料の鉄製結束バンドを切断した。その際に材料が倒れ、材料と材料スタンド下枠の間に右手首を挟んで切断した。	61	5	521		50 ～ 99
64	2020	10	13 ～ 14	工場で、スポット溶接機を使用しプレートへボルトの差し込み作業中、ボルト上に親指を乗せた際、ペダルを踏み、ボルトとチップの間に親指が挟まれ、左親指末節骨を折った。	30	7	339		30 ～ 49
65	2020	10	9 ～ 10	工場内で、製品を両手で固定し作業中、手が滑り、機械に指先が挟まれ、両手人差し指の先を骨折した。	30	7	154		30 ～ 49
66	2020	10	16 ～ 17	プレス機による作業現場で、送り抜き加工の工程中、金型の中に手が入った状態でプレス機の足踏みスイッチを押して、右手首を骨折した。	53	7	154		10 ～ 29
67	2020	10	16 ～ 17	工場内、作業用定盤の上で、ベニアでRゲージを作っていた際、ボールペンを取りに行くため、定盤から降りたとき、バランスを崩し、左足首をひねり、手をついて、手首を痛め、左足首関節靭帯外側損傷を負った。	42	2	417		1～ 9
68	2020	10	7 ～ 8	工場建屋に向かうため、屋外通路を歩いていた際、正門から侵入したイノシシが後ろから突進してきて左足に衝突し、大腿部打撲と左足関節捻挫を負った。	48	6	719		50 ～ 99
			14	プレス作業で、機械のオペレーター側から先手側に移動し、品質確					30

69	2020	11	15	認をする際、スクラップシューターに片足が落ちそうになり、転倒して床面で受け身を取ったとき、右肩を骨折した。	58	1	414	～ 49
70	2020	11	14 15	ベンダー（折り曲げ機）で折り曲げ作業中、短い部品を連続して加工した後、長い部品を加工するため、型枠をセットし直し、型合わせをするとき、セット変更を失念し、型の中に左手示指を添えたまま機械を動作させた。その際、挟まれて左手示指を開放骨折した。	52	7	154	30 ～ 49
71	2020	11	14 15	工場内で金属製品をプレスする際、右手で製品を下型の所定の場所に置いた後、手を引かないうちにフットスイッチを踏んだ。そのためプレスが下りてきて、上型と下型の間で右手人差し指を挟んで骨折し、神経が断裂した。	54	7	154	1～ 9
72	2020	11	11 12	工場内で125tプレス機で防臭排水トラップの上リングを型抜きする準備をしていた。高さ調節のため手元にあった穴あき板を取り付け、型抜き加工を数回したところ、ジャッキが板の穴に入り込んで斜めの状態になった。その状態のまま次の型抜き加工をした際にジャッキが外れ、その勢いで板が外れて被災者の方へ飛び、腹部に当たって外傷性小腸穿孔を起こした。	51	4	154	10 ～ 29
73	2020	11	14 15	工場内で、プレス機の金型に材料をセットしたとき、材料がずれていたのを修正しようと左手を入れた。その際、プレス機械が作動し、環指を挟まれて挫傷を負った。	40	7	154	10 ～ 29
74	2020	11	15 16	金型工場内で、製品を曲げるプレスブレーキで作業中、部品が外れてしまい、左腕を出し、部品が左腕に当たり、バランスを崩し転倒し、右手を切った。その際、左腕を骨折、右手に切傷を負った。	57	6	154	10 ～ 29
75	2020	11	15 16	本社工場で、枠に掛けた品物を硝酸槽に浸ける作業を行っていた。その際、手袋・前掛けをしていたが、枠を上げ下げしているうちに手袋内に薬品が入り、右前腕に科学外傷を負った。	54	12	514	—
76	2020	11	14 15	75tプレスの機械で鉄板を加工する際、左手甲をプレス機に挟み、左手示指伸筋腱断裂、左第3・4・5指切断、左手中指基節骨骨折、左手部尺骨動脈損傷を発症した。	62	7	154	10 ～ 29

77	2020	11	16 ～ 17	事業所内で、35tプレス機で送り切断の金型で作業をしていた際、製品を取ろうと立ち上がったところ、フットスイッチを踏んでしまい、金型に右手母指を挟み、右母指手指不全切断を負った。	56	7	154	10 ～ 29
78	2020	11	12 ～ 13	工場内で、私物を所定の場所に置きに行こうとして、スチールラックの前で転倒し、ラックの下端で左脛に切傷を負った。同時に体を庇おうとして右手をつき手首を骨折した。	57	2	417	10 ～ 29
79	2020	12	14 ～ 15	工場内で、プレス機で加工中、慌てており、プレス機の上に置いた材料のズレを修正するため左手を出した際、起動スイッチを押し、左手人差し指と中指をプレス機の間で挟まれ、左手指尖部を切断した。	65	7	154	30 ～ 49
80	2020	12	17 ～ 18	2名自転車で並走し工場へ向かう途中、歩行者がいたため、ハンドルを切った際、相手と接触し、転倒した。このとき、右肩を骨折した。	38	3	362	50 ～ 99
81	2020	12	14 ～ 15	プレスブレーキ機で清掃およびグリスアップ中、保護カバーを外し給油作業後、充填確認中に、フットスイッチを踏み機械が作動し、右手甲の骨折、親指付け根に打撲挫創を負った。	56	8	154	10 ～ 29

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.html(職場のあんぜんサイト)

参考：[労働災害の分類の概要](#)

[各小業種における死傷災害事例\(最大99事例まで\) \(2020年\)](#)に戻る。